

# 図書だより

石川県立松任高等学校図書室  
平成26(2014)年12月発行

～ 閉塞成冬(そら さむく ふゆとなる) ～

12月に入って急に天気が荒れ、まさに冬到来! 気がつけば2014年もあと1ヶ月となりましたね。皆さんにとってどんな1年でしたか? 部活動や進学や就職や・・・試験が終われば冬休みです。新着本も入ってきています。寒い冬に、ゆっくりと読書してみたいいかがですか。



## 新着図書入荷のお知らせ&オススメ本

### 『よくわかる都道府県』

日本博識研究所／編

各都道府県の地図を投稿者が独自に解説する「よくわかる都道府県」というスレッドをもとに全47都道府県のあるあるネタをまとめて紹介しています。各都道府県の基本情報もバッチリ。ざっくり地図をざっくり解説。日本の地理や郷土色も理解できる一冊です。

### 『銀翼のイカロス』

池井戸潤／著

半沢直樹シリーズ第4弾、今度の相手は巨大権力! 頭取命令で経営再建中の帝国航空を任された半沢は、500億円もの債権放棄を求める再生タスクフォースと激突する。政治家との対立、立ち上がる宿敵、行内の派閥争い——プライドを賭け戦う半沢に勝ち目はあるのか?

### 『ハケンアニメ!』

辻村深月／著

an・an連載小説、待望の書籍化。9年ぶりの新作に挑む伝説の天才アニメ監督。同時期に放送するアニメを制作中の期待の新人監督と人気プロデューサー。ネットで話題のアニメーター、舞台探訪で観光の活性化を期待する公務員…。どんなに大変でも辛くても、皆の想いは唯一「いい仕事がしたい!」。注目作家が描く熱血お仕事小説。

### 『神様の裏の顔』

藤崎 翔／著

神様のような清廉潔白な教師、坪井誠造が逝去した。その通夜は悲しみに包まれ、誰もが涙した—と思いきや、年齢も職業も多様な参列者たちが彼を思い返すうち、とんでもない犯罪者であった疑惑が持ち上がり…。聖職者か、それとも稀代の犯罪者か。読後感強烈ミステリ!!

### 『25歳の補習授業』

福岡伸一ほか／述

池上彰・糸井重里・太田光・姜尚中・福岡伸一・養老孟司・渡邊美樹という豪華講師陣が、日本の各分野を代表して現代人を救う革命的思考法を真摯に教授する、地球でいちばん受けたい授業。

### 『気ままに漢詩キブン』

足立幸代／編

「難しくてよくわからない」と敬遠されがちな漢詩。そこで今ドキの女子っぽく現代語訳してみたら、驚くほど親近感が湧いてきた! 堅苦しい解釈抜きに読んでみると千年前の人たちが身近にみえてきます。

～ 先生方からみなさんにすすめるこの1冊 ～

第4回は数学科の免田先生と社会科の吉田先生です。

免田隆宏先生おすすめの1冊

吉田啓悟先生おすすめの1冊

### 『博士の愛した数式』 小川洋子／著

この物語は、80分しか記憶がもたない博士と、その博士のもとにきた家政婦とその息子とのやり取りを描いた物語である。高校3年生の時に読んだ本だが、数学への興味が沸いた1冊であった。高校や大学で習うような数学ではなく、数字に隠れた秘密などを教えてくれた。また、記憶が続く時間が減っていく中でも助け合いを通じて家族のような温かさが感じられる本であり、是非とも気軽に手にとってみて読んでみてほしい。

### 『16歳の教科書』

講談社／出版

「なぜ、学ぶのか。勉強して、なんの役に立つのか。」「高校時代の貴重な時間を勉強に費やすことになんの意味があるのだろうか。」みなさんが日ごろ感じるこの思い。この本を読み終わった後、すべて吹き飛んでしまうでしょう。子どもの季節が終わり、大人への人生が始まろうとしている今、高校生のみなさんにこの本をおすすめします。ちなみに僕がこの本を読んだのは、大学1年生(19歳)の時です。読み終わった後の感想は「もっとはやく読んでおけば」でした。

### 年越しそば



日本では大晦日の夜に「蕎麦」を食べる習慣があります。なぜ「蕎麦」なのかと思っている人もいます。いくつかの言い伝えがあり1つには「蕎麦のように細く長く生きられるように」、「蕎麦が切れやすいように、今年あった嫌なことを断ち切るように」、さらには、金細工師が部屋に飛び散った金粉を集めるのに蕎麦粉を使った故事にならい、「金運が身につくように」などいろいろな説があります。

江戸時代中ごろには年越し蕎麦を食べる風習があったそうです。なお、残念ながら蕎麦アレルギーの人は、他の料理で年を越してください。

### 12月4日～10日(人権週間)

人権イメージキャラクター人KEN まもる君と人KEN あゆみちゃんは、漫画家やなせたかしさんのデザインにより誕生しました。2人とも、前髪が「人」の文字、胸に「KEN」のロゴで、「人権」を表しています。



### 次の偉人は誰でしょう?(発明家です)



1564年～1642年  
イタリアの天文学者  
『天文学の父』と呼ばれる。



1833年～1896年  
ダイナマイトの発明者



1847年～1931年  
生涯におよそ1,300の  
発明をおこなった人



1845年～1923年  
1895年にX線を発見  
した人